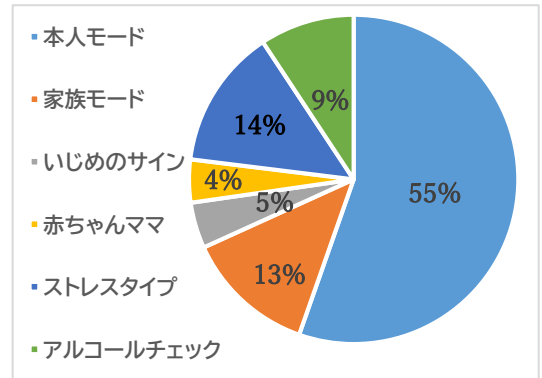


令和7年度 調布市自殺対策計画に基づく取組について

1 普及啓発活動

(1) スマートフォン等でストレスや落ち込み度を気軽にチェックできるシステムである「こころの体温計」を運用し、その結果によって各種相談窓口への紹介を行うとともに、市民が自分自身のこころの状態に向き合うきっかけづくりとして、自殺予防の周知・啓発の取組を推進した。



(2) 市ホームページで「生きづらさを感じているあなたへ(こころの悩み相談)」のコンテンツを公開し、各種相談窓口を案内するとともに、情報を随時更新した。

(3) 東京都の自殺対策強化月間の取組に合わせ、9月と3月を自殺対策強化月間として、以下の事業等を展開した。

ア 相談体制の周知

東京都等の相談窓口を市 HP で公開するとともに、市報8月20日号・2月20日号や市ホームページに特集記事を掲載

イ 自殺対策強化月間中は、京王トリエA館地下1階コンコース(京王線調布駅構内改札先)にて、チラシや啓発グッズの配布



ウ 自殺対策強化月間中は、市役所本庁 2 階エントランスホールにて、パネル展示および本庁 2 階デジタルサイネージにて啓発動画等を放映

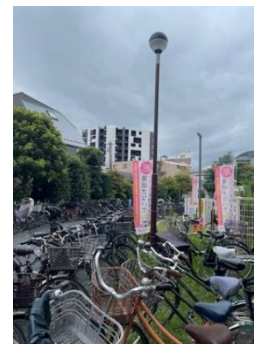


エ 「いのち支えるロゴマーク」に使用されている4色のライトアップ

9月10日の世界自殺予防デーから始まる自殺予防週間:文化会館たづくり外壁
3月東京都自殺対策強化月間:調布駅広場口屋根



オ 市内公共施設および文化会館たづくり西館, 本庁駐輪場におけるのぼり旗の設置と, 関係部署・関係機関の窓口におけるミニのぼり旗の設置



カ 自殺予防講演会

12月19日(金)開催

『～つながる・むきあう・ささえあう～いのちを守る出前講座』

講師: 仲野 精氏, 佐藤 顕仁氏

(東京司法書士会 自死問題対策委員会 委員)

場所: 調布市文化会館たづくり 8階映像シアター

募集人数: 50名(会場のみ)

周知方法: 市報, 市公式ホームページ, 市公式 LINE, チラシ配架

当日参加者: 39人



2 人材育成

(1) 市職員向け ゲートキーパー養成講座

市民ゲートキーパー養成研修「身近な人の悩みにどのように気づき, 対応するか～大切な命を守るためにできること～」(YouTube動画)を視聴のうえ, 確認テスト(インターネットフォーム)に回答



対象者	R2	R3	R4	R5	R6	R7
行政職員	21人 (1回)	43人 (1回)	31人 (1回)	960人 (1回)	1613人 (1回)	1620人 (1回)

(2) ゲートキーパーの役割についてのミニ講話

民生児童委員, 幼稚園・保育園等に出向く保護者向け健康教育でミニ講話を実施

対象者	R2	R3	R4	R5	R6	R7
民生児童委員	0人 (※1)	0人 (※1)	136人 (1回)	123人 (1回)	123人 (※2)	129人 (1回)
事業参加市民	102人 (6回)	69人 (9回)	214人 (12回)	293人 (20回)	349人 (23回)	236人 (16回)

※1 令和2年度・3年度は、毎年2月に実施している「調布市合同民生児童委員協議会」が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため0人。令和4年度から再開

※2 令和6年度は司法書士が実施

(3) ゲートキーパーの動画を市公式 YouTube「調布市動画ライブラリー」で放映中

ア 「あなたもゲートキーパー」

イ 「市民ゲートキーパー養成研修 身近な人の悩みにどのように気づき、対応するか～大切な命を守るためにできること～」



動画 QR コード

3 地域のネットワーク強化

(1) 自殺未遂者の再企図を防ぐための対策の推進

調布消防署・調布警察署のほか、東京都立多摩総合医療センターにも配布を依頼

【配付カード】



4 子ども・若者の自殺対策の推進

(1) チャット相談事業「あなたのいばしょ」

ア 概要

令和7年7月から、子ども生活部児童青少年課で事業開始

「NPO 法人あなたのいばしょ」に委託し、調布市専任の相談員が対応

24時間365日、無料かつ匿名で利用することができる

